



明日へ

平成12年6月15日発行
児童養護施設鎌倉保育園
(発行責任者 園長大久保稔)

〒248-0017

神奈川県鎌倉市佐助1-6-6

電話 0467-22-0424

FAX 0467-22-1766

ご挨拶

新緑の季節、若葉に彩られた山々の輝きにまぶしさを感じています。

でも、今、暗い、重い心でこの文を記しています。

昨年8月末以来、皆様方にも大変な思いと、多大なご心配をおかけしましたことを心から申し訳なくお詫び申し上げます。

延期になってしまった新園舎建設に対しては、多数の方々から資金のご寄付をいただいておりますが、昨年10月の理事会で、基本的には建設は実施するのであるからご寄付については継続的に取り扱うこととし、どうしても返還してほしいとの申し出のある方にはお返しすることもやむを得ないのではということになりました。そして、時期をみて、ボランティア会員さんをはじめご寄付をいただいた方々にお知らせすることとしましたが、当面の改善策と新園舎建設計画の見直しにおわれ、今になってしまいましたことをお許しください。

新園舎建設につきましては、新たに理事会のもとに建設委員会を設け、職員や児童の意見も聞く中で基本構想を練り上げ、理事会の承認を得て本年6月に県に提示するところまでになりました。県も国も暖かい理解を示してくださり、平成13年度施行の予定で進められております。

しかし、今回の不祥事で当法人が被った損失はかなりのものであり、建設費の捻出に苦慮しているところであります。元理事長(園長)のような幅広い人脈も徳も無い若輩が、百余年の伝統を有する「鎌倉保育の園」の新生に関わるのは大変に重責であり力不足を感じますが、皆様の変わらぬご支援お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

この度、児童養護施設「鎌倉保育園」としての広報紙が新たに発行されたのを機にご挨拶させていただいた次第であります。

理事長 小原 勉

施設運営改善への取り組み

園長 大久保 稔

平成11年6月15日発行の「保育の園NEWS」第2号は「新園舎建設についての基本構想」を中心とした内容で、「編集後記」には「次号は仮園舎での子どもたちの生活の様子などをお知らせしたいと存じます。」とあります。

ところが、県が設置する「かながわ子ども人権審査委員会」の委員4名の同月9日の当園訪問調査をそもそもの発端として、その後の経過の中で、当園は体罰等人権侵害問題で103年の園の歴史をくつがえすほどの事態となり、新聞やテレビ等の報道で全国的に知れ渡ることになってしまい、入札まで進んだ新園舎建設も中止になってしまいました。

特に新園舎建設に対してご寄付をいただいております多くの方々には、これらの事情についての説明が遅くなってしまって、誠に申し訳なく存じておりますが、新たな新園舎建設の見通しがある程度ついてからの方がよいと考えたことと、当園の広報紙を新たに発行することにしたため、現在に至ってしまいました。なにとぞ、この間の事情をご理解いただきたくお願い申し上げます。

さて、「かながわ子ども人権審査委員会」は、東京都子ども人権擁護委員会から、当園に入所している児童の処遇についての相談があった旨の連絡があったことから、当園を訪問調査したもので、当園での体罰等懲戒権の濫用や不適切な処遇など、子どもへの人権侵害問題があったことを認め、神奈川県児童福祉審議会に報告しました。同審議会は審議の上、当園に対する指導が必要と判断し、神奈川県知事に意見具申をし、同知事は平成11年9月8日付けで社会福祉法人鎌倉保育の園の理事長あてに当園の「施設運営及び処遇の改善について」勧告したわけであります。平成11年度～12年度の新園舎建設事業は、知事勧告の中の「今回の事態を重く受け止め、予定している施設整備は当分の間見合わせ、改善に向けて全力を傾注すること。」により延期となってしまいました。

知事の勧告の中に「今回の事態を生じさせた責任を明確にし、県民の理解が得られるよう、法人役員及び施設職員に対する人事上の措置を講ずること。」とありますが、この勧告の前の9月2日の理事会で、理事長兼園長を解任し、副園長の辞任を承認し、職員2人を解雇しております。知事の勧告以後の主な事項を時系列に掲げると次のとおりであります。

- | | | |
|-------|--------|---|
| 平成11年 | 9月17日 | 理事会で再建委員会を設置 |
| | 10月8日 | 理事会で園長（大久保稔・元県中央児童相談所長）の採用を承認、副園長制を廃止（理事長と園長をそれぞれ専任化したため） |
| | 10月13日 | 理事会で再建委員会の答申（改善計画書案）を承認 |
| | 10月15日 | 知事に「改善計画書」を提出 |
| | 11月1日 | 主任児童指導員（村岡薫・児童養護施設「子どもの園」職員）を採用 |
| | 11月16日 | 理事会で新理事（10人）を選任、前理事（全員）は辞任 |
| | 11月25日 | 理事会で新理事長（小原勉）を選出、幹事（2人）を選任 |
| | 12月1日 | 園に職員研修委員会を設置 |

- 12月20日 理事会で管理規程及び事業計画を一部改正（体罰等の懲戒権濫用禁止等の趣旨を盛り込む）建設委員会を設置（新園舎建設を新たな視点から見直す）
- 12月24日 知事に改善計画の進捗状況報告書（第1回）を提出
- 平成12年 1月1日 「鎌倉保育園児童指導マニュアル」を施行
- 1月21日 県の「児童福祉施設改善計画評価会議」の当園訪問調査
- 3月15日 理事会で新園舎建設の「基本構想」を承認、耐震診断の実施を決定
- 3月28日 知事に改善計画の進捗状況報告書（第2回）を提出
- 5月17日 県の「児童福祉施設改善計画評価会議」の当園訪問調査

以上の経過を経て現在に至っておりますが、知事に対する「改善計画進捗状況報告書」は平成12年6月末及び9月末と後2回提出することが義務づけられております。

昨年の問題発生以降、県の行政当局や県社会福祉協議会の児童福祉分科会等のご指導で支援を得て、法人役員と施設職員が一丸となって施設運営や児童処遇の早期改善に取り組み、県民並びに関係者の信頼を回復することに努めたことにより、児童養護施設の不祥事が続く中、当園は「改善のモデル」との評価を得ております。特に、他施設に先駆けて園の「管理規程」に「懲戒権の濫用禁止」等の趣旨を盛り込んだことと新たに「児童指導マニュアル」を作成したことなどは高く評価されております。

新園舎の建設の延期につきましては先に記したところですが、施設の現状は、コンクリート壁のひび割れや崩落のおそれなど建物の老朽化が激しく、かつ、耐震的にも問題であります。そこで、まず何よりも子どもたちの安全確保のために施設整備が再開できるように、法人理事会は建設委員会を設け、園の職員会議とも連携を図り、検討作業を積み上げ、新園舎建設計画の新たな「基本構想」をまとめるまでに漕ぎ着けました。法人としましては、新園舎は遅くとも2年遅れの平成13年度～14年度で建設できるように努力しておりますので、皆様方の従前に変わらないご支援ご協力をお願い申し上げます。

鎌倉保育園は約束します

子どもの人権を守り、一人ひとりの生活をより豊かなものにし、自立を支援していきます。

子どもの生活に関わる施設の運営、処遇体制等について、子どもや保護者の意見を大切にしていきます。

施設の運営、処遇体制については、職員の参加による検討を行い決定する仕組みづくりをし、進めていきます。

子どもの処遇に当たっては、児童相談所、学校等関係機関との十分な連携のもとに、適時、的確な対応に努めていきます。

ボランティアや実習生の受け入れ、地域の人々との交流を積極的に行い、地域に開かれた施設づくりを進めていきます。

（「改善計画書」の前文中の「鎌倉保育園の運営の基本的視点」）

生活の変化

主任児童指導員 村岡 薫

私が鎌倉保育園に着任したのが昨年（2019年）の11月1日。新聞報道以来、不安定な生活を余儀なくされていた子どもたちとともに残された先生方が、とにかく日々の生活の維持に懸命に取り組んでおられた時期でした。

前体制では一部の中心となる職員で物事が決められていたことが多かったため、理由はどうであれその方々が一斉に辞められたあとの鎌倉保育園は、航海図もなく漂う洋上の客船のような状況でした。これからどこに進んでいくのか、何をどうしていくことがいいのかという不安のもとで、子どもと職員がまとまり身を固めて生活を守っているなか、外部の人間が新たな羅針盤の役割で自分達の生活に入り込んでくることに対しては「何をされるんだろうか」という思いが強かったことでしょう、当初子どもたちや先生方が私を観る眼には厳しいものを感じられました。無理もないことだったと思います。

あれからほぼ半年、晒されていた生活が少しずつ平穏を取り戻すにつれ、子どもたちもまたひとりひとりが伸びやかな歩みを始めているように感じます。伸びやかに育つなかでは当然のこととして、冒険、失敗、過ちもあります。私たちがかつてそうであったように、過ちを繰り返しながらの成長を、職員ひとりひとりがしっかりと受け止めて共に歩んでいきたいと願っています。今は良きにつけ、悪きにつけ必要以上（この判断は難しい）の生活の枠組みや規則を減らすことに取り組んでいますので、ここ1、2年は自分達なりの生活スタイルを獲得するのに時間がかかると思います。

生活のスタイルは子どもと職員で話し合い、試行錯誤を重ねながら少しずつ変わってきております。そのことについては好意的な御意見もあれば御批判もあります。例えば昨年度のクリスマス祝会にお見えになったお客様からも「子どもたちが楽しそうに喜んでやっている様子が伝わってきて良かったです」という言葉と「世俗的なものに流されない今までの厳粛な雰囲気失われて残念でした」という言葉を頂戴いたしました。どちらもその通りなのだと思います。

若い先生方（ホントに若い！）や子どもたちの良き導き手になりながら、鎌倉保育園という大きな船の航海士としての任を与えられた私ですが、本当にまだまだ未熟であり、恥ずかしいほど見地も狭く、行動に思慮を欠くことの多いことも痛感しています。しかしながらまさに乗りかかった船であり、多くの方のお叱りを真摯に受け止め、支えられながら進路をとっていきたいと願っています。

『すべての事には季節があり、すべてのわざには時がある』（伝道の書3章1節）

風雨のとき、しっかりと根を張りたいたいと思います。

ご指導ください。

変わってきていることとして

～自律に向けて～

言葉でいうほど簡単なことではありません。失敗をも含めてより多様な生活経験をさせていくことはリスクを伴い、ひとりひとりにきめ細やかに応じることが必要です。担当の先生方には10人前後の『子育て』をしていただいています。深く取り組むほどに、悩みを抱え、行き詰まり、不全感にさいなまされることが多くなります。せめて一つの子どもの人数が4、5人程度になればと思いながらも、現状において、より良い取り組みを模索し続けております。

いくつかの試みとして

*日課の再構築

全体としてゆるやかな流れになってきていますが、それが怠惰の生活へと流れないように随時ふりかえりながら、子どもと大人で話し合いながら試行錯誤している状況です。小中学生の自転車の使用、ゲームボーイ等の使用などの諸事情で禁止の状態であったもの、電話の使用時間、帰園時間、掃除時間などの時間の枠組み等、幾つかのことが変わってきています。全て決められているという感覚から、自分たちで決めていくこともできるという意識に変わってほしいと思います。



*部活動への参加

今の世の中ではあまり見かけなくなりましたが、昔の子だくさんの家の年長児には様々な役割がありました。鎌倉保育園は大家族での生活です。大勢には大勢の良さもあるとともに果たすべき役割もあり、お互いの配慮もより多く必要です。今は子どもたちは自分たちの望む部活動に参加しており個々人にはよいことですが、同時に役割や配慮についても考えて身につけてほしいと思います。

*アルバイトの奨励

子どもの状況や通学校の校則などに配慮しながらも、社会経験としてのアルバイトを奨励しています。アルバイト先は担当の職員と話し合いながら良いところを探しています。『働くこと、働く姿』『金銭感覚、大切さ』『様々な人間関係』などについて、鎌倉保育園で生活している間に実体験し、職員とも話し合い、そのことを経験として身につけ社会へと自立していくことが良いかと考えます。



*部屋の構成の変化

この4月より、幼児のみであった光の家を廃し、基本的に男女混合縦割りの8つの家の形としました。複数の職員が一つの家に関われるようにし、兄弟姉妹は可能な限りに同じ家としています。諸課題はまだありますが、現状の職員体制で可能な限り子どもたちの生活に細かく配慮できるようにしたいと思っています。

4月からのみんなの生活...！！

新年度が始まり、それぞれの生活も落ち着いてきた今日この頃。
鎌倉保育園の子どもたちは元気いっぱいに過ごしています。
去年までの幼児・学童の横割制を変え、4月からは混合、縦割になり、兄弟も同室編成としました。74人の子どもたちを8部屋に分け、それぞれ、生活しています。
初めはお互いに、様子を伺っていた子どもたちも、今では大きい子が幼児の面倒をみたり、一緒に遊んだり、賑やかになりました。



やっほー

インタビュー：

Q:ようじさんが入ってどうですか？

大変な時もある

フシギな人たち...

楽しい...かたじけなく

にぎやか!!

おもひろい

いつも お世話になっております

平成12年5月現在、鎌倉保育園では約40名ほどの方々から20項目以上にもの様々なご厚意を受けています。

子どもたちの日々の生活に直接関わるものとしては、英語・数学などの学習面、器楽・習字・お菓子作り・絵画などの教養面の他にも美容奉仕、縫い物奉仕など様々な方々にお世話になっています。また、毎年、定期的に中華組合・お菓子組合の方々からのおいしいお食事のご提供や映画・スキー・クルージング・アイススケート・米軍基地などの様々な分野の方々からのご招待もいただいております。

今後も何卒ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



新しい先生たち！？

4月から鎌倉保育園の新しい仲間となった面々です(職員として)。

(左から)

勝村周一郎 プロシューター(K'Z FACTORY所属・佐藤ルミナ選手と共に練習に励む。アマチュアリングス優勝など各種タイトル獲得)

「KOLしてやるぜ!!」

及川貴志 約1年間の徒歩旅行、経験。様々な生活力を持つ男。

「さわやかにいきます」

勝岡美乃里 いつもハキハキとしていて心地よい。「いつも、私は元気です!!」



鎌倉保育園の一年間

| | | | | |
|-----|--------------|----------|--------|-----|
| 4月 | 小・中・高入学式、始業式 | 幼稚園入園式 | | |
| 5月 | 初夏ホームステイ | | | |
| 6月 | 文体卓球大会 | | | |
| 7月 | 園の友の会 | 夏期転住 | | |
| 8月 | 文体野球・ソフト大会 | 夏期ホームステイ | 文体水泳大会 | 夏祭り |
| 9月 | 総合防災訓練 | | | |
| 10月 | 文体幼児運動会 | | | |
| 11月 | 文体駅伝大会 | | | |
| 12月 | クリスマス祝会 | 冬期ホームステイ | | |
| 1月 | 文体送別マラソン大会 | | | |
| 2月 | あすなろ交歓会 | | | |
| 3月 | 鎌倉保育園卒園式 | 小・中・高卒業式 | 幼稚園卒園式 | |



編集後記

今回、広報紙を作成することになりましたが、コンセプトを決める段階から紙面作りが始まりました。紙面の作成は広報委員を中心に進めてきましたが、子どもたちの案もいたるところに散りばめられています。

広報紙タイトル(君)

「やっほーかまくら」 たかまさ君

イラスト 美樹ちゃん